



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

東

上場会社名 株式会社アジアゲートホールディングス 上場取引所
 コード番号 1783 URL <http://www.asiagateholdings.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 壮
 問合せ先責任者 (役職名) 経理事務連絡担当 (氏名) 平林 友伸 (TEL) 03-5572-7848

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	2,918	41.9	232	-	263	-	235	-
27年9月期第3四半期	2,056	4.5	△125	-	△74	-	△73	-

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 193百万円 (-%) 27年9月期第3四半期 △33百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	5.44	4.75
27年9月期第3四半期	△1.74	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	8,903	7,629	85.4
27年9月期	7,560	6,430	84.6

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 7,608百万円 27年9月期 6,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	-	-	-	0.00	0.00
28年9月期	-	-	-	-	-
28年9月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,821	37.9	253	-	261	-	233	-	5.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年9月期3Q	57,442,851株	27年9月期	42,442,851株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	190株	27年9月期	130株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年9月期3Q	43,209,108株	27年9月期3Q	41,944,388株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年10月1日～平成28年6月30日）におけるわが国の経済状況は、原油安や不安定な中東情勢を背景に株価も乱降下を繰り返すなどの先行きの見えない展開でありながら、当社の足元では東京五輪開催に伴い、公共事業を始めとした建設業界の堅調な状況、外国人観光客の大幅な増加を背景にした観光業界の盛況など明るい材料も見られます。

このような状況の下、当社グループは、ゴルフ・リゾート事業が天候にも恵まれ順調に売り上げを伸ばし、リアルエステート事業は本格的に稼働し好調な成績をあげ、建設事業も堅調に受注を獲得したこともあり、売上高は前年同四半期と比較して8億62百万円増加し、営業利益は前年同四半期と比較して3億58百万円増加いたしました。

経常損益に関しましては、当第3四半期連結累計期間に、関係会社（株式会社東京衝機）の平成28年2月期決算の内容を受け、持分法による投資利益3百万円が発生いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高29億18百万円（前年同四半期売上高20億56百万円）、営業利益2億32百万円（前年同四半期営業損失1億25百万円）、経常利益2億63百万円（前年同四半期経常損失74百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億35百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

① ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、天候にも恵まれた結果、売上高は9億13百万円（前年同四半期売上高8億60百万円）、営業損失30百万円（前年同四半期営業損失92百万円）となりました。

② ファイナンス事業

ファイナンス事業におきましては、ほぼ予定通りに推移し、売上高5百万円（前年同四半期売上高6百万円）、営業利益8百万円（前年同四半期営業利益10百万円）となりました。

③ 建設事業

建設事業におきましては、順調に受注が伸びた結果、売上高11億84百万円（前年同四半期売上高11億5百万円）、営業利益38百万円（前年同四半期営業利益28百万円）となりました。

④ リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、堅調に取引も推移し、売上高7億72百万円（前年同四半期売上高42百万円）、営業利益2億14百万円（前年同四半期営業損失75百万円）となりました。

⑤ その他

上記に属さない事業（主に通信関連取引）は売上高47百万円（前年同四半期売上高47百万円）、営業利益0百万円（前年同四半期営業利益1百万円）を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて13億42百万円増加し89億3百万円となりました。

流動資産は5億72百万円減少し36億83百万円、固定資産は19億15百万円増加し52億20百万円となりました。流動資産減少の要因は現金及び預金の減少によるものです。

固定資産の増加の内訳は、有形固定資産の減少16百万円、無形固定資産の増加0百万円、および投資その他の資産の増加19億31百万円であります。主な要因として投資その他の資産の関係会社株式が19億82百万円増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億43百万円増加し、12億74百万円となりました。負債増加の主な要因は、支払手形・工事未払金等が65百万円増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11億99百万円増加し、76億29百万円となりました。純資産増加の主な要因は、新株予約権の行使による増資で資本金が5億10百万円、資本準備金が5億10百万円ともに増加したことと、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が2億35百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期連結通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年11月13日に公表しました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から摘要し、支配が継続している場合の子会社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関係費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

また、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748,907	598,210
受取手形・完成工事未収入金等	304,329	635,824
リース投資資産(純額)	30,795	20,781
商品	76,070	35,474
原材料及び貯蔵品	13,017	11,682
販売用不動産	1,928,210	2,178,196
未収入金	14,283	10,435
その他	147,793	195,359
貸倒引当金	△7,660	△2,822
流動資産合計	4,255,747	3,683,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	446,867	429,608
機械装置及び運搬具(純額)	30,952	33,564
工具、器具及び備品(純額)	7,395	5,662
土地	1,755,915	1,755,915
有形固定資産合計	2,241,131	2,224,751
無形固定資産		
その他	6,353	6,427
無形固定資産合計	6,353	6,427
投資その他の資産		
投資有価証券	31,969	26,473
関係会社株式	654,650	2,637,476
長期貸付金	386,725	337,225
長期未収入金	63,456	63,813
その他	63,249	63,303
貸倒引当金	△142,354	△138,701
投資その他の資産合計	1,057,697	2,989,590
固定資産合計	3,305,182	5,220,768
資産合計	7,560,929	8,903,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	259,701	325,062
短期借入金	1,942	-
未払法人税等	11,552	47,079
未払消費税等	27,082	35,321
繰延税金負債	123,274	120,610
賞与引当金	5,767	16,006
ポイント引当金	21,148	20,838
その他	200,969	237,948
流動負債合計	651,439	802,867
固定負債		
繰延税金負債	4,829	4,418
役員退職慰労引当金	26,097	33,114
退職給付に係る負債	139,105	133,215
資産除去債務	16,244	16,420
その他	293,133	284,635
固定負債合計	479,410	471,803
負債合計	1,130,849	1,274,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	4,010,600
資本剰余金	4,107,779	4,618,379
利益剰余金	△1,293,641	△1,058,432
自己株式	△37	△40
株主資本合計	6,314,101	7,570,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△5,559
土地再評価差額金	6,324	9,534
為替換算調整勘定	72,968	33,876
その他の包括利益累計額合計	79,258	37,850
新株予約権	36,720	20,884
純資産合計	6,430,079	7,629,241
負債純資産合計	7,560,929	8,903,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,056,636	2,918,924
売上原価	1,186,968	1,675,032
売上総利益	869,667	1,243,892
販売費及び一般管理費	995,659	1,011,311
営業利益又は営業損失(△)	△125,991	232,580
営業外収益		
受取利息	8,183	3,321
受取配当金	74	63
受取給付金	1,768	1,654
貸倒引当金戻入額	-	4,567
業務受託料	7,338	3,821
持分法による投資利益	26,889	3,441
雑収入	14,809	14,108
営業外収益合計	59,063	30,979
営業外費用		
支払利息	1,776	323
資金調達費用	5,354	-
その他	147	97
営業外費用合計	7,277	421
経常利益又は経常損失(△)	△74,205	263,138
特別利益		
固定資産売却益	730	2,621
債務免除益	-	7,197
特別利益合計	730	9,819
特別損失		
固定資産除売却損	266	0
特別損失合計	266	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△73,741	272,957
法人税等	△460	37,748
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,280	235,208
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△73,280	235,208

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,280	235,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△5,496
為替換算調整勘定	-	△5,294
持分法適用会社に対する持分相当額	39,634	△30,616
その他の包括利益合計	39,634	△41,407
四半期包括利益	△33,646	193,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,646	193,801
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

当社は、第1四半期連結会計期間において、第三者割当による新株予約権の発行及び自己株式の処分を行いました。これにより、その他資本剰余金(自己株式処分差損)が469,999千円、自己株式が604,046千円減少し、新株予約権が36,720千円増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は4,107,779千円、自己株式は△36千円、新株予約権は36,720千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

新株予約権の行使に伴い、当第3四半期連結累計期間において資本金が510,600千円、資本準備金が510,600千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,010,600千円、資本準備金が4,050,166千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	その他 (千円)	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	860,501	1,460	1,105,222	42,362	47,089	2,056,636	—	2,056,636
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,621	—	—	—	4,621	△4,621	—
計	860,501	6,081	1,105,222	42,362	47,089	2,061,257	△4,621	2,056,636
セグメント利益又は損 失(△)	△92,037	10,234	28,486	△75,153	1,791	△126,679	687	△125,991

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	その他 (千円)	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	913,024	1,260	1,184,740	772,199	47,700	2,918,924	—	2,918,924
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,501	—	—	—	4,501	△4,501	—
計	913,024	5,762	1,184,740	772,199	47,700	2,923,426	△4,501	2,918,924
セグメント利益	△30,558	8,668	38,074	214,994	924	232,103	477	232,580

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第3四半期連結会計期間においてQiandao Limited社を持分法適用の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「リアルエステート事業」のセグメント資産が20億円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、リアルエステート部門の急速な成長により、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、本社費用の配賦方法を変更いたしました。なお前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は影響が微細なため、以前の算定方法に基づき算定しております。